

IEEE 広島支部 2008 年第 1 回理事会議事録

日時：2008 年 3 月 11 日(火) 14:00-16:20

場所：広島インテリジェントホテルオフィスセンター1F 商談室

出席者：角田、堀田、六井、大久保、片桐、吉田、舟阪

委任状提出者：玉木、塚田、土屋、中西、西

議事内容

1. 総会議事録(案)の確認

2007 年度、2008 年度とあるところ、2007 年、2008 年と修正して承認。

2. 年間計画

■理事会には講演会をできるだけ組み合わせるとし、以下のように開催予定。

第 2 回 5 月 17 日(土) 広島市立大学 HISS 第 1 回実行委員会も合わせて

第 3 回 7 月 島根 講演会も合わせて開催(吉田先生)

第 4 回 9 月 山口 9 月中旬開催の福祉関係のイベントと合わせる可能性(堀田先生)

第 5 回 11 月 広島 HISS と合わせて

協賛はもちろん、主催、共催の講演会で活動をアピールしたい。講演者の方には謝金(広島支部会員でない場合)と旅費(実費)を支給。謝金は 1.5~2 万円程度か。

■Committee 活動充実の具体策として、学生会員の発表補助を手厚くする。

<1> 国際会議 1 万円(上限 10 件) 3,000 円だった既存制度をそのまま増額。

<2> 国内会議(IEEE 主催・共催) 3,000 円(上限 40 件) ほぼ HISS 中心となると予想。理事会に上げて選定する。<1>については増額するだけなので先にアナウンスする。<2>の詳細については次回理事会で決定する。

3. 2008 年役員および Committee 構成確認

2007 年から変更なし。ただし役員選挙(推薦)委員会を新たに構成し、構成員は吉田先生(Chair)、玉木先生、塚田先生、中西先生、山口先生とする。各県にお一人の形(二大学ある県では規模の大きい大学を選択)。前 Chair の中西先生にご助言いただくこととする。

4. SMC チャプター役員リストおよび 2007 年会計監査報告(片桐先生より)

■SMC チャプター役員の任期は 2008、2009 年の 2 年であり、広島支部の役員・理事とは 1 年ずれる。誰が承認するのかについては調査しておく必要あり。

■会計報告については総会で提出済みであり、今回は監査の報告。Chapter Rebate に支援費と日本語をつけているのは正確でないので削除する。

5. 第10回 HISS 企画

■開催地は広島とする。第1回で利用した体育館のような施設が空いているとよいが。

■開催時期は11月とする。期間としては2日半を想定。土日祝ならば11/1~3、あるいは11/22~24。パネリストに金曜日を休暇にして来てもらうなら金土日。他学会とぶつけない。

■実行委員の募集は4月より。早々に確定し5/17に実行委員会を開催したい。その際には、前回の実行委員長と各委員会の長にも参加してもらってはどうか。実行委員は前年同様、IEEE 学生会員であることを強制せず、貢献賞・功労賞の副賞で差をつけるのみとする。ただし、今年は国内 IEEE 会議の発表支援を新設することで、学生会員の増加を見込む。

■第10回記念イベントとして何をするか。過去のポスターや論文集の展示。過去の実行委員長（相当）、過去の支部長による HISS の過去とこれからのための討論（パネル）。過去の実行委員長に連絡がつくか確認する必要あり。地方自治体の長など来賓を迎えたい。初代支部長による基調講演。HISS としての懇親会。理事会で学生とは別に企画するか。

■研究賞審査方法について検討しておく必要あり。

6. IEEE 広島支部功績賞選定委員会（舟阪（西先生の代理）より）

■1月中旬に選定委員会が設けられた。

■推薦の提出先を Web 上の様式で更新する。更新を支部 ML で周知する。

以上を承認。選定委員会（理事会）のメンバーから推薦者本人を除く必要はないとする。

7. その他

3/24 に 2008 年第 1 回 JC 理事会。角田先生の代理で舟阪が参加。活動計画を説明する。